

教科	社会	学年	第1学年	単元のまとまりの評価規準		
単元名	時数	単元の到達目標（小単元のねらい）		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
世界の姿	6	・地球表面の様子を地球儀や世界地図を活用してとらえさせ、地球上の位置の表し方や、球面上の位置関係をとらえる技能や知識を身につけさせる。		・世界の地域構成について、緯度と経度、大陸と海洋の分布、おもな国々の名称と位置、地域区分などを理解し、その知識を身につけている。	・世界の地域構成について、緯度と経度、大陸と海洋の分布、おもな国々の名称と位置、地域区分などをもとに多面的、多角的に考察し、その結果や過程を適切に表現している。	・世界の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
日本の姿	4	・我が国の国土の位置、世界各地との時差、領域の特色と変化、地域区分などから、日本の地域構成を大観させる。		・日本の地域構成について、国土の位置、世界各地との時差、領域の特色と変化、地域区分などを理解し、その知識を身につけている。	・日本の地域構成を、国土の位置、世界各地との時差、領域の特色と変化、地域区分などをもとに多面的、多角的に考察し、その結果や過程を適切に表現している。	日本の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
世界各地の人々の生活と環境	6	・世界各地における人々の生活のようすとその変容について。自然及び社会的条件と関連付けて考察させ、世界の人々の生活や環境の多様性を理解させる。		・世界各地の人々の生活と環境の多様性を自然及び社会的条件と関連付けた人々の生活のようすとその変容を理解し、その知識を身につけている。	・世界各地の人々の生活と環境の多様性を自然及び社会的条件と関連付けた人々の生活のようすとその変容をもとに多面的、多角的に考察し、その結果や過程を適切に表現している。	・世界各地の人々の生活と環境について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
世界の諸地域	39	・世界の諸地域について、各州にくらす人々の生活のようすを的確に把握できる社会的事象から、それぞれの州の地域的特色を理解させる。世界の様々な地域の調査を行う。		・世界の諸地域を特色を各州にくらす人々の生活のようすを的確に把握できる主題をもとに地域的特色を理解し、その知識を身につけている。	・世界の諸地域を特色を各州にくらす人々の生活のようすを的確に把握できる主題をもとに多面的、多角的に考察し、その結果や過程を適切に表現している。	・世界の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
歴史のとらえ方/原始・古代の世界と日本社会	10	文明や国家の成立条件や形成過程について、世界の古代文明を取り上げて考察することを通して、年代の表し方や時代区分の意味や意義についての基本的な内容を理解します。 また、地域の歴史や各地の遺跡を題材に、資料を読み取りまとめる技能を身に付け、「歴史」とは何かについて考察します。		・まとめた主題から、歴史的なとらえ方ができ、時代の大きな移り変わや日本列島における人々の生活の変化を理解している。	・人類の出現や古代文明の発生や、人々の生活の変化について、多面的・多角的に考察している。 ・わが国の歴史について、時代の大きな移り変わや日本列島における人々の生活の変化について多面的・多角的に考察している。	・歴史の表現方法や歴史的な見方・考え方について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。 ・古代までの日本について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
古代の日本と東アジア	28	大陸の文物や制度を積極的に取り入れながら国家の仕組みが整えられ、文化が展開したことを題材に、国家のあり方と周囲の国や環境とのかわりについて考察します。		・国家の形成と天皇・貴族の政治の展開のあらましについて、東アジアの歴史を背景に理解し、その知識を身につけている。 ・古代における日本の文化の特色などを、東アジアの歴史を背景に理解し、その知識を身につけている。	・古代までの日本の国家形成と天皇・貴族の政治やそのころの文化などから課題を見出し、大きな歴史の流れと時代の特徴について考察している。	・古代の日本について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。 ・律令国家の形成、古代の文化と東アジアとの関わりについて、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
中世の日本社会	12	中世の社会の特色を、武家政治や庶民の台頭、東アジア世界とのかわりなどの面から調査・表現し、社会のあり方を決定づける要素について考察します。		・天皇・貴族中心の政治から、東アジア世界との関わりを背景に理解し、その知識を身につけている。	・中世の文化の特色や社会の動向を文化の担い手と関連させて、多面的・多角的に考察している。	・中世の日本について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。